

# 13年度通期決算 説明資料

2014年5月8日

沖電気工業株式会社

※億円単位の数値の表示方法について：

各項目の数値は、それぞれの数値の億円未満を四捨五入して表示しています。  
また増減については、億円単位の数値を元に計算しています。

※本資料における予想、見通し、計画等は、現時点における事業環境に基づくものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。

# 本日のご説明内容

1. 13年度 通期決算について
  - 1-1) グループ概況
  - 1-2) セグメント情報
  - 1-3) 営業利益の変動要因
  - 1-4) P/Lの概要
  - 1-5) B/Sの概要
  - 1-6) キャッシュフローの概要
  
2. 14年度 計画について
  - 2-1) 14年度の方針
  - 2-2) セグメント情報
  - 2-3) 営業利益の変動要因
  - 2-4) P/Lの計画
  - 2-5) フリーキャッシュフローの計画
  - 2-6) 設備投資・研究開発投資の計画

## グループ概況

### 対前年273億円の売上増、137億円の営業利益増

情報通信事業が堅調なことやプリンタ事業の構造改革により  
計画を上回る利益を達成

【平均為替レート】

通貨	当期	前年
USD	100.2	83.1
EUR	134.4	107.2

※為替差額の影響

対前年同期 売上高(+251億円)、営業損益(+43億円)

(単位:億円)	13年度		前年同期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
情報通信	3,036	234	2,930	238
プリンタ	1,248	51	1,114	△88
E M S	371	17	327	16
その他	176	28	187	30
消去・本社費	-	△58	-	△61
合計	4,831	272	4,558	135

## セグメント情報【情報通信】

### ■ 為替による影響

➤ 売上高81億円増収、営業利益16億円増益

### ■ 売上高: 為替影響を除き25億円増収

➤ ソリューション&サービス:

- ・ソリューションは金融システム関連が増加
- ・サービスは大型案件が減少

➤ 通信システム:

- ・企業NWや保守工事に加えてコアNWが堅調

➤ 社会システム:

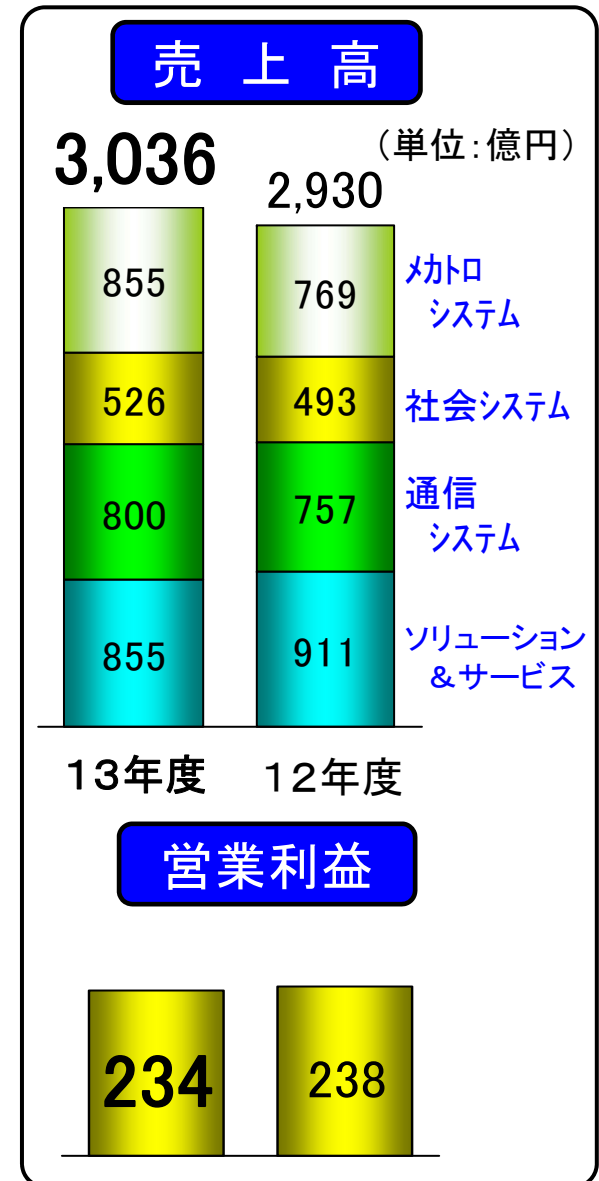
- ・消防、防災を中心に堅調

➤ メカトロシステム:

- ・国内ではコンビニ向けATMや現金処理機、金融機関向け営業店端末が好調
- ・中国向けATMは、一部顧客向け出荷が来期へずれたものの概ね堅調

### ■ 営業利益: 為替影響を除き20億円減益

価格下落および費用増などにより減益



## セグメント情報【プリンタ】

### ■ 為替による影響

▶ 売上高170億円増収、営業利益27億円増益

### ■ 売上高: 為替影響を除き36億円減収

#### ▶ LEDプリンタ

- ・オフィスプリンタは販売戦略の見直しにより、高付加価値機種へシフトし機種MIXが良化
- ・コピー、プロフェッショナル領域へ向けた新商品の販売も順調だったことから売上は増加

#### ▶ ドットインパクト

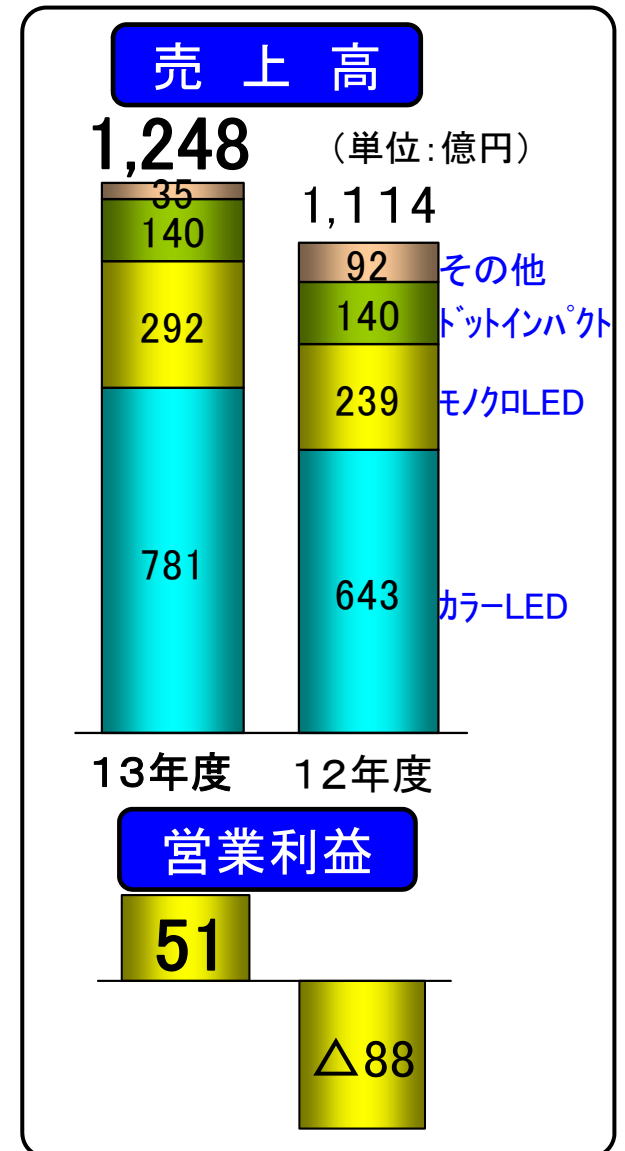
- ・市場全体は縮小傾向が継続

#### ▶ その他

- ・スペイン子会社の営業休止により減少

### ■ 営業利益: 為替影響を除き112億円改善

事業構造改革による固定費の削減に加えて機種MIXが良化したことにより大幅改善



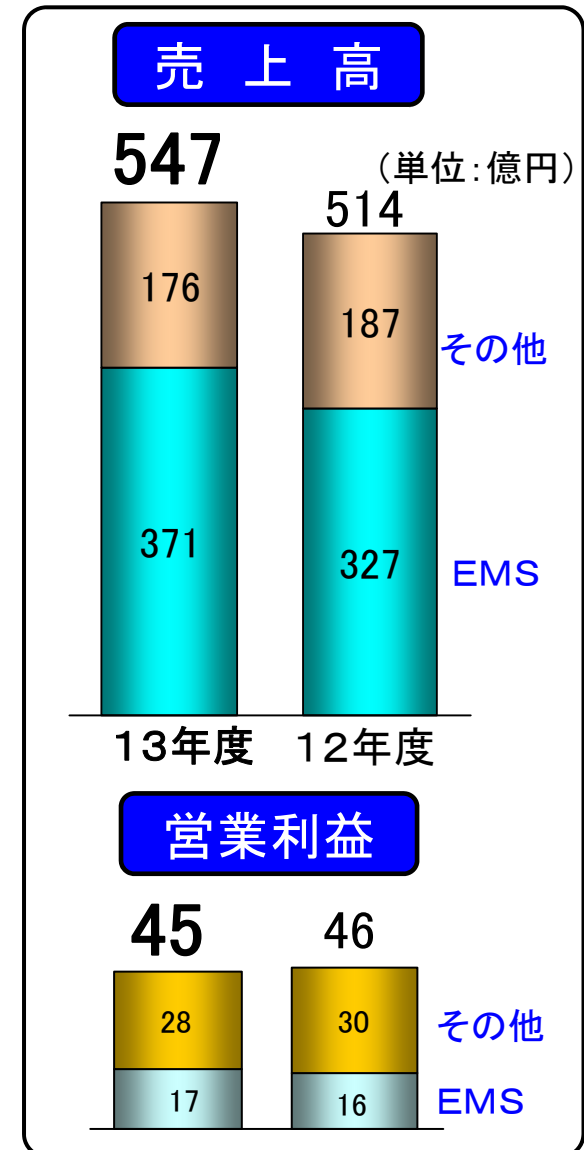
# セグメント情報【EMS】・【その他】

## ■ 売上高

- ▶ EMS: 44億円の増収
  - ・通信機器市場向けが堅調
  - ・OKIサーキットテクノロジー(※)の連結効果
- ▶ その他: 11億円の減収
  - ・部品関連は堅調
  - ・アミューズメント向けは減少

## ■ 営業利益

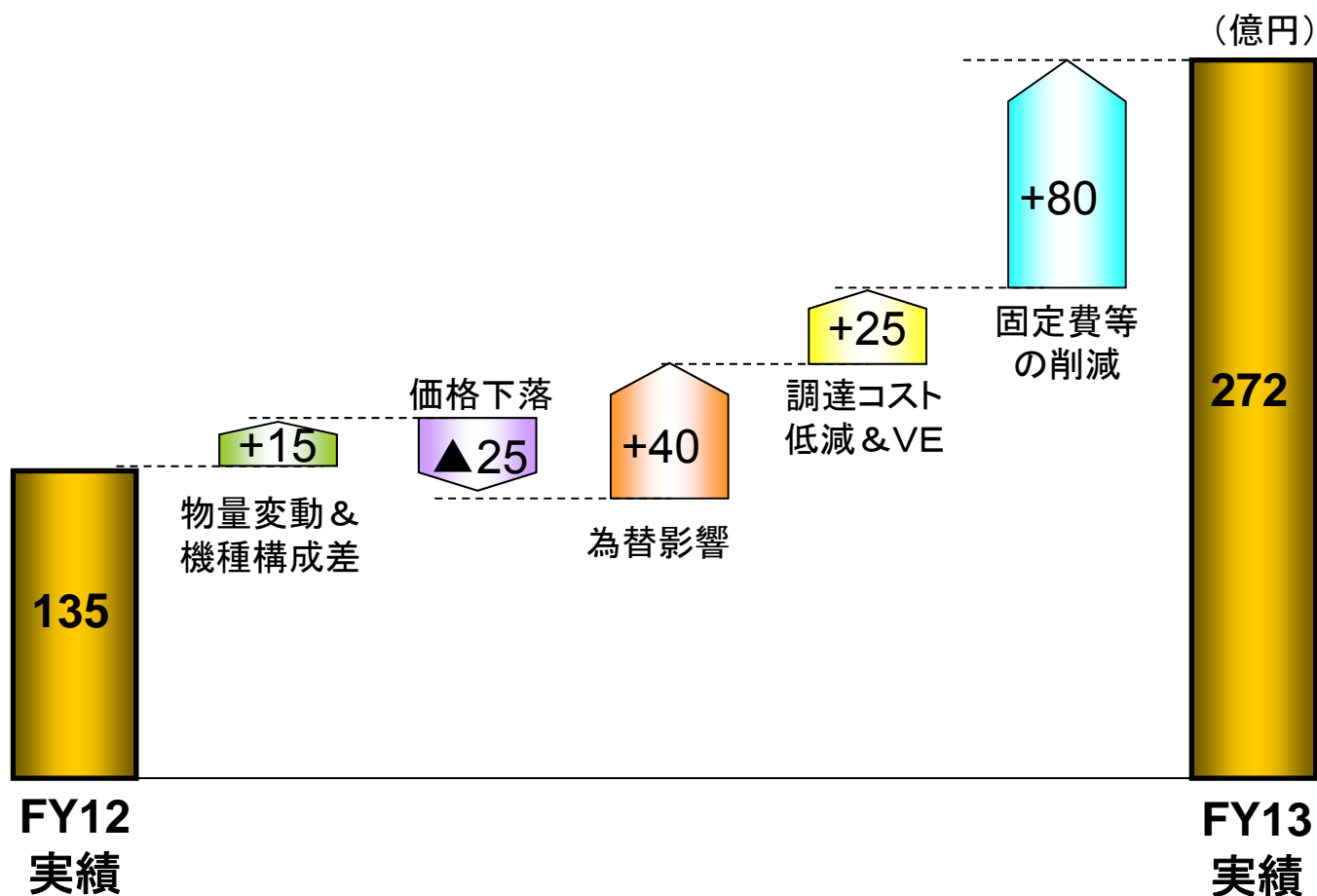
アミューズメント向けの物量減影響により  
 その他が減益



※2014年4月1日より(旧社名、OKI田中サーキット)

# 営業利益の変動要因

プリンタ事業構造改革による固定費等の削減や機種MIXの改善効果に加え、円安も寄与したことにより137億円の大幅増益



# P/Lの概要

(単位:億円)	13年度	12年度
売上高	4,831	4,558
売上原価	3,546	3,374
販管費	1,013	1,049
営業利益	272	135
営業外収支	95	68
経常利益	367	203
特別損益	△49	△17
税引前利益	318	186
当期純利益	274	136

## 【対前年比較】

- 販管費は、プリンタ事業の事業構造改革による固定費削減などにより減少
- 営業外収支は、為替差益113億円を計上
  - ・為替差損益+25(+88 → +113)
- 特別損失に、プリンタ等の事業構造改善費用43億円を計上

参考	期末日レート	
	14/3末	13/3末
USD	102.9	94.0
EUR	141.6	120.7

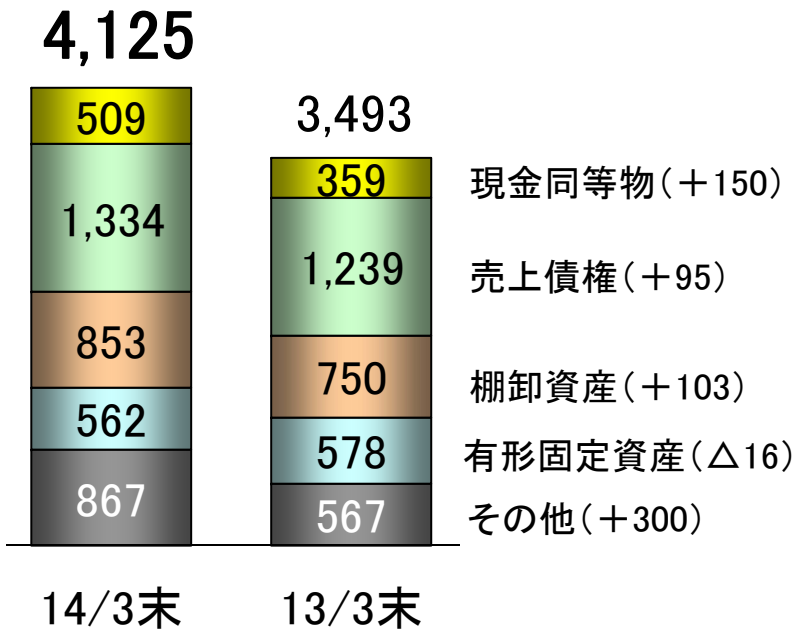


## B/Sの概要

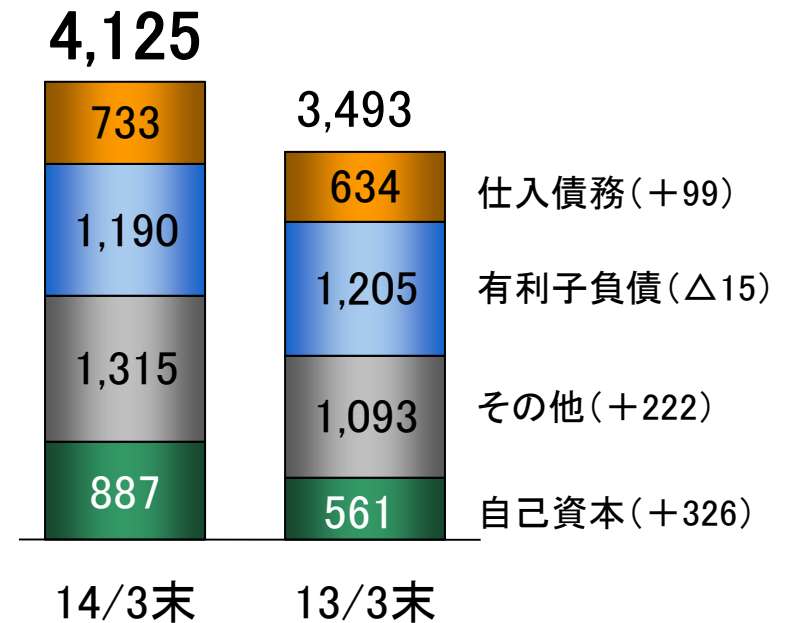
- 退職給付債務のオンバランス影響などにより総資産は632億円増加
- 自己資本は326億円増加、比率は16.1%→21.5%に改善
- NET D/Eレシオは1.5倍→0.8倍に改善(D/Eレシオ 1.3倍)

( )内は増減 (単位:億円)

### 【資産の部】



### 【負債・純資産の部】



## キャッシュフローの概要

- フリーキャッシュフローは、当期純利益および運転資金の改善により179億円の収入

(単位:億円)	13年度	12年度
<b>I 営業キャッシュフロー</b>	319	△116
税金等調整前当期純利益	318	186
減価償却費	142	130
運転資金の増減	16	△158
その他	△157	△274
<b>II 投資キャッシュフロー</b>	△140	△92
設備投資支払額	△78	△119
その他投資活動	△62	27
<b>フリー・キャッシュフロー(I + II)</b>	179	△208
<b>III 財務キャッシュフロー</b>	△43	△211
<b>キャッシュフロー計(I + II + III)</b>	136	△419

フリー・キャッシュフローおよびキャッシュフロー計については、各項目の億円単位での合計値で表示しています

# 本日のご説明内容

## 1. 13年度 通期決算について

- 1-1) グループ概況
- 1-2) セグメント情報
- 1-3) 営業利益の変動要因
- 1-4) P/Lの概要
- 1-5) B/Sの概要
- 1-6) キャッシュフローの概要

## 2. 14年度 計画について

- 2-1) 14年度の方針
- 2-2) セグメント情報
- 2-3) 営業利益の変動要因
- 2-4) P/Lの計画
- 2-5) フリーキャッシュフローの計画
- 2-6) 設備投資・研究開発投資の計画

## 14年度の方針

### 「中期経営計画2016」のスタート「成長」へモードチェンジ

- ◆ ベース事業で安定収益を確保
  - ・情報通信システム事業は国内の堅調な需要の取り込み
  - ・ATMは、安定成長期の中国市場で収益を拡大
  - ・プリンタは、マーケティング戦略強化により収益力向上
- ◆ グローバル展開を加速
  - ・ATMの販売地域を拡大
  - ・ブラジルでのATM事業を本格的に立上げ
- ◆ 持続的成長へ向け市場を開拓
  - ・次世代社会インフラ分野参入へ向けた活動を本格化
  - ・保守、EMS事業で医療、新エネルギーなどの事業分野を開拓

14年度経営目標数値(億円)

売上高:5,250 営業利益:285 当期純利益:175

# セグメント情報(サマリ)

## 【通期計画の対前年比較】

- 売上高は、419億円増の5,250億円
- 営業利益は、13億円増の285億円

<為替レート>

	14年度	13年度
USD	100	100.2
EUR	135	134.4

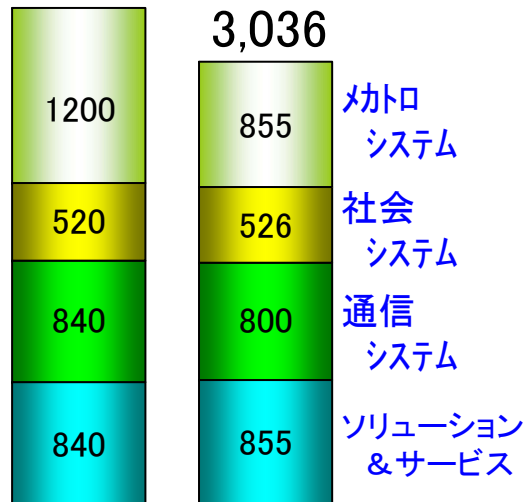
(単位:億円)		14年度計画		13年度	
		通期	2Q累計	通期	2Q累計
情報通信	売上高	3,400	1,330	3,036	1,203
	営業利益	225	20	234	44
プリンタ	売上高	1,280	600	1,248	573
	営業利益	80	25	51	△6
EMS	売上高	400	190	371	180
	営業利益	20	5	17	5
その他	売上高	170	80	176	84
	営業利益	25	10	28	13
消去・本社費	営業利益	△65	△30	△58	△28
合計	売上高	5,250	2,200	4,831	2,040
	営業利益	285	30	272	28

# セグメント情報

## 【情報通信】

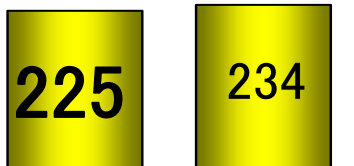
### 売上高

3,400 (単位: 億円)



14年度 計画    13年度 実績

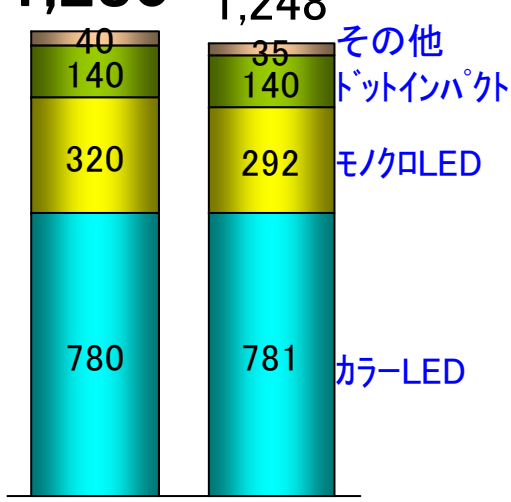
### 営業利益



## 【プリンタ】

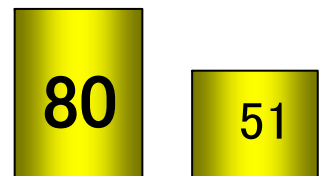
### 売上高

1,280 (単位: 億円)



14年度 計画    13年度 実績

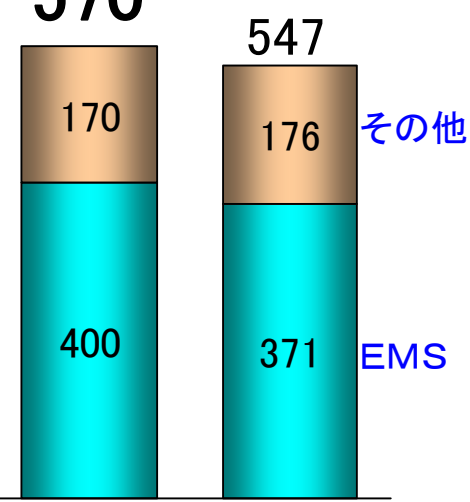
### 営業利益



## 【EMS、その他】

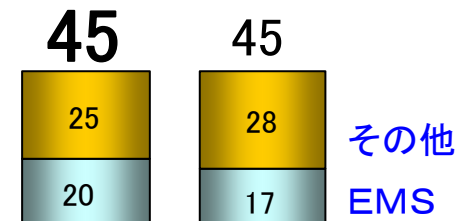
### 売上高

570 (単位: 億円)



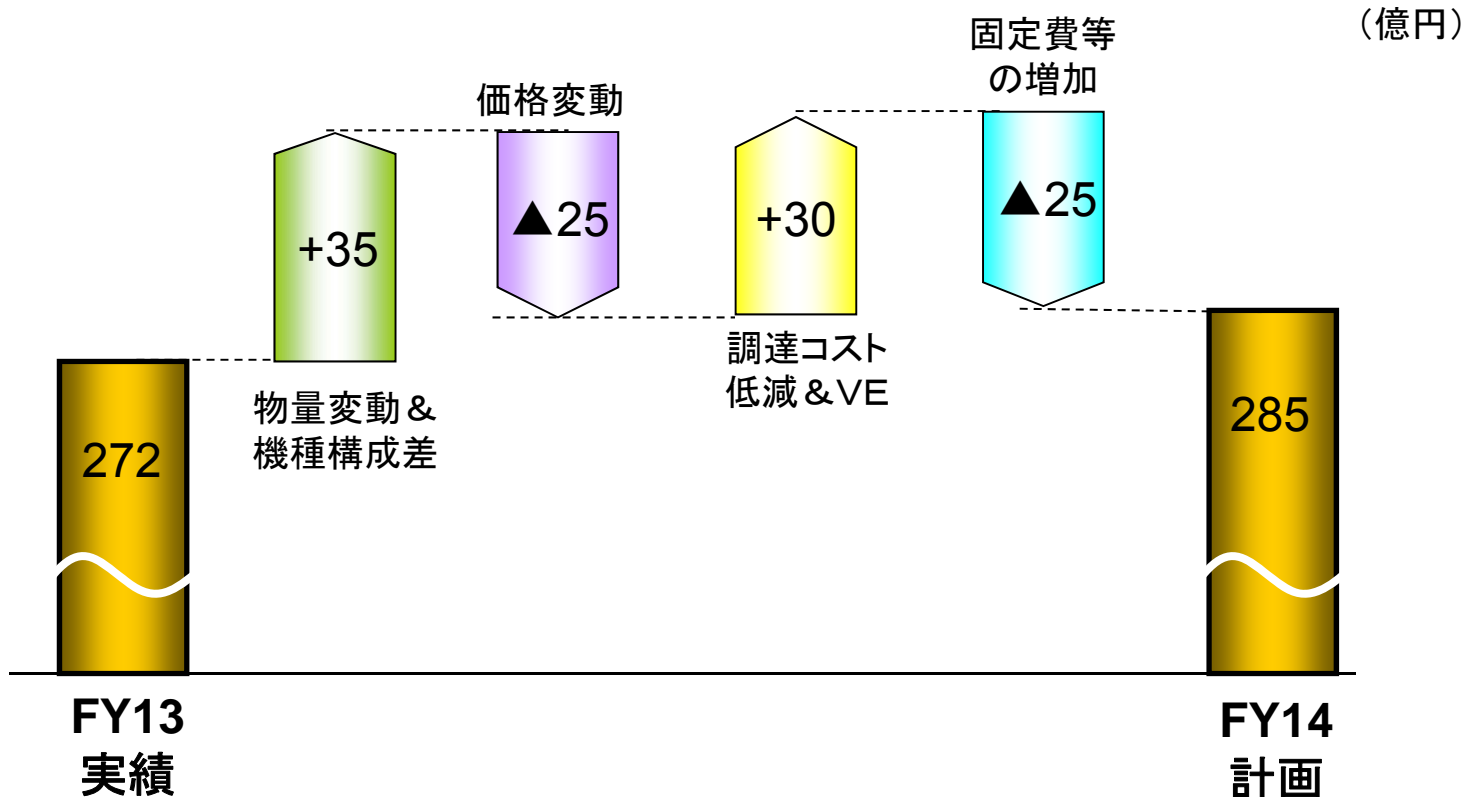
14年度 計画    13年度 実績

### 営業利益



# 営業利益の変動要因

ベース事業で安定収益を確保し、ブラジルでのATM事業の立ち上げコストを吸収して、前年比13億円の増益を計画



## P/Lの計画

- ◆ 経常利益および当期純利益については、前年度営業外で発生した為替差益(113億円)を今期計画の前提に織込んでいないため、対前年で減益。
- ◆ 年間配当4円(中間2円、期末2円)を計画

(単位:億円)	14年度計画		13年度実績	
	通期	2Q累計	通期	2Q累計
売上高	5,250	2,200	4,831	2,040
営業利益	285	30	272	28
経常利益	255	10	367	70
当期純利益	175	10	274	18



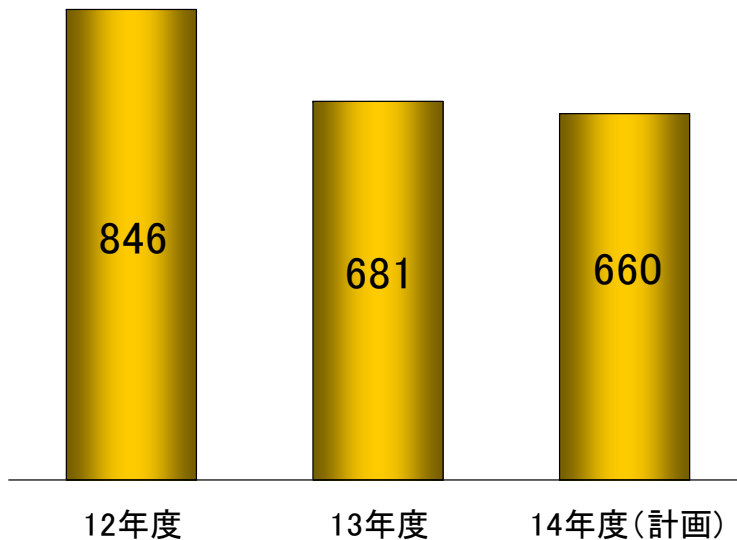
# フリー・キャッシュ・フローの計画

- 安定的なキャッシュフローを確保し財務基盤をさらに改善

(単位:億円)	14年度 計画	13年度 実績
I 営業キャッシュ・フロー	250	319
II 投資キャッシュ・フロー	△150	△140
フリー・キャッシュ・フロー(I + II)	100	179

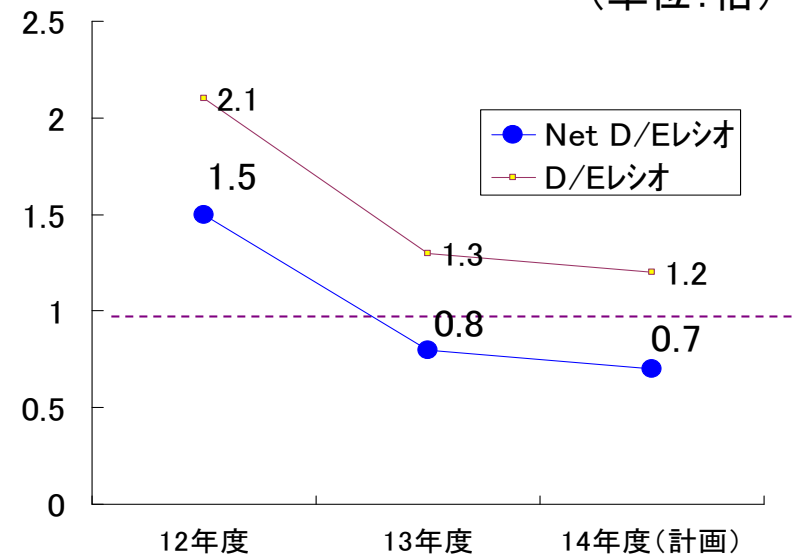
【NET 有利子負債残高推移】

(単位:億円)



【Net D/Eレシオ推移】

(単位:倍)

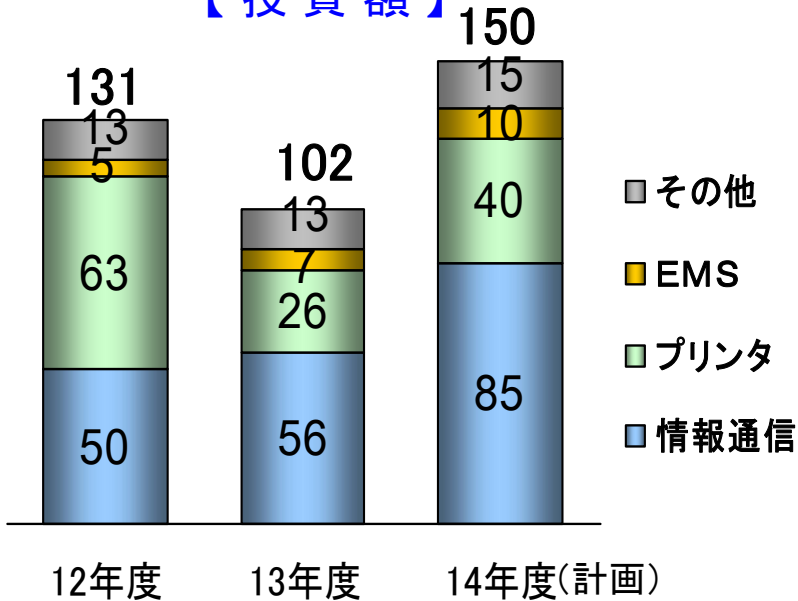


# 設備投資、研究開発投資の計画

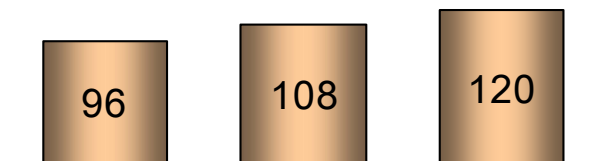
● 情報通信システム事業を中心に投資を増強

## 設備投資(有形固定資産)

### 【投資額】

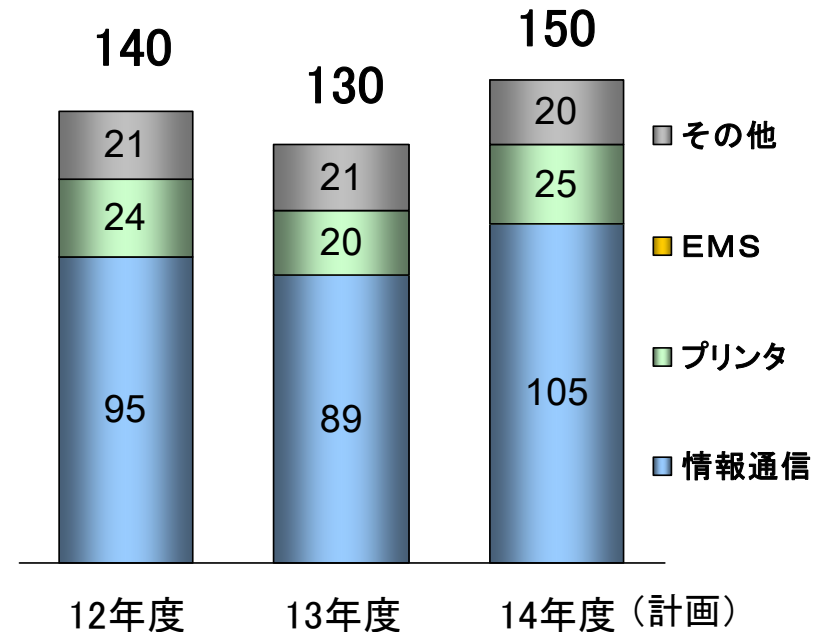


### 【減価償却費】



## 研究開発投資

(単位:億円)





*Open up your dreams*